

静岡県中学校総合体育大会 ソフトボールの部

(兼 第44回 東海中学校総合体育大会ソフトボール大会 予選会)
 (兼 第44回 全国中学校体育大会ソフトボール大会)

1. 期 日 令和4年 7月23日(土) 監督会議 8:30
 試合開始 9:30～
 7月24日(日) 試合開始 9:30～
 7月25日(月) 試合開始 9:30～
 予備日 7月26日(火)、27日(水)、28日(木)

2. 会 場 富士川緑地公園G、河川敷スポーツ広場 静岡市清水区蒲原

3. 参加チーム 32チーム(各支部の代表数については以下のとおり)

<各支部の代表数>

田 方	: 2	静 岡	: 3	小 笠	: 3
三島・東豆	: 2	志太・榛原	: 2	磐 周	: 2
駿 東	: 4			浜松・湖西	: 8
沼 津	: 2				
富 士	: 2				
富 士 宮	: 2				

4. チーム編成 監督 : 当該学校の校長・教員・部活動指導員 1名
 ※ 「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に基づき、学校設置者により任用・学校への配置がなされ、部活動の顧問及び大会等の引率ができる者をいう。
 コーチ : 当該学校の校長・教職員または、外部指導者(コーチ) 1名
 引率責任者 : 当該学校の校長・教員・部活動指導員 1名(監督、コーチ兼任可)
 選手数 : 18名

※ 運動部活動顧問等の部活動指導中の暴力・体罰・セクハラ等の静岡県中学校体育連盟の対応について

「静岡県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して大会参加申込書を作成する。なお、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。」

5. 競技方法 トーナメント方式(7回戦)で行う。(組合せ表については種目最終項に掲載)
 1回戦は時間制限(120分を超えて新しいイニングに入らない)を設ける

6. 競技規定

- 2022年度オフィシャル・ソフトボールルールに準じて行う。
 日没や天候不順等の理由により試合が成立しなかった場合は、サスペンデットを採用する。
 ただし、会場、審判員の変更は認める。
- ベンチはプログラム記載による若番を1塁側とする。
- 各チームは、試合開始予定時刻30分前までに集合すること(トスも試合開始30分前)。
- 3回15点、4回10点、5回以降、7点以上差のあるとき、コールドゲームを採用する。
- 延長はなし。8回以降はタイブレーカーにより勝敗を決する。
- フィールドイニングは5分間とし、初日・2日目は1回だけとする。ただし、準決勝・決勝戦は毎試合1回とする。(登録者のみ)
- 選手はユニフォームナンバーをつけること。大きさは標準寸法でよい。
- 監督、コーチは、選手と同色のユニフォームを着用する。ユニフォームナンバーは、監督30番、コーチ31番または、32番をつける。
- 監督・コーチは、コーチャーズボックスに入ることはできない。
- 服装・マナーについて

※ 巻頭の「大会参加にあたっての注意事項」を、各学校徹底の上大会に参加すること。

7. **参加申し込み** 参加資格を得たチームは、県中体連HPより「参加申込書」をダウンロードして、7月10日(日)までに「12. 責任者連絡先」に申し込む。
部活動指導員ベンチ入りについては中体連規定により「部活動指導員確認書」を提出。
外部指導者ベンチ入りについては中体連規定により「外部指導者承認書」を提出。
※大会参加料(1人1000円)を徴収します。当日、受付時に支払うこと。
8. **表彰** 男女各8位までを入賞とし表彰する。 ※ 3位は2校とする。
1 位 : 優勝カップ(中体連)、優勝楯(静岡新聞社・静岡放送)
賞状、メダル(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
2・3位 : 賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
5～8位 : 賞状(中体連)
9. **東海大会・全国大会出場枠**
・東海大会 : 県大会上位2チーム
・全国大会 : 東海大会上位4チーム
10. **東海大会・全国大会参加申し込み**
・東海大会 : 出場校は申込書を県大会会場で受け取り、参加料(1人2,000円)を支払う。申込書は県部長が指示した日までに下記「12. 責任者連絡先」宛てに提出する。(提出は原本・コピー各1部ずつ。学校控えのコピーを1部必ず残すこと)
県部長はコピー、参加料を本県中体連事務局に、原本を大会当日開催県専門部長に提出する。
・全国大会 : 大会出場校は申込書を東海大会会場で受け取り、要項に示された申し込み先へ、学校から直接発送する。
11. **全国大会出場報告**
・県部長は東海大会終了後直ちに全国大会出場チーム名、選手名を本県中体連事務局に報告する。
12. **責任者連絡先(参加申込書送付先)**
〒431-3111 浜松市東区中郡町897
浜松市立中郡中学校 小島 健太
TEL(学) 053-433-2717 FAX(学) 053-433-2718
アドレス kojimakennta3@gmail.com
13. **その他**
(1) 監督者会議を大会初日に本部前にて午前8時30分より行う。大会2日目・3日目は行わない。
(2) 申し込み後、選手変更が生じた場合は50部印刷し、監督者会議時に提出する。
(3) 天候不順で開催可否不明の場合は、午前6時に決定する。県大会に出場が決まったチームには問い合わせ先を後日、連絡するため、その連絡先に電話をすること。
(4) 競技用具は審判員が確認し、規定外及び危険と思われる用具は、試合終了後まで役員席で預かる。
(5) 開会式は行わないこととする。出場チームは、競技規定にある時間に遅れることのないように集合すること(試合開始を30分程度早めることがある)。
(6) 本大会は、東海大会と全国大会の予選会を兼ねているため、東海大会、全国大会に出場が決まったチームは選手登録の変更をすることができない。
(7) コロナウイルス感染対策については県総体実施上のガイドラインおよび、競技部から出された感染対策に則ること。

静岡県中学校体育連盟ソフトボール競技部 COVID-19感染防止および暑熱対策について

I COVID-19感染防止対策

大会実施に当たっては「令和4年度 静岡県中学校体育連盟 静岡県中学校総合体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」に従って感染防止対策を講じる。

1, 体調記録表の記録と健康管理の徹底

各校の引率責任者は、選手、監督、コーチ、引率責任者の大会前2週間分の体調を記録した「体調記録表」を保管すること。大会終了後2週間以内に各校の選手、監督、コーチ、引率責任者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技部長に対して速やかに報告すること。

2, 学校同行者体調記録表の提出

各校の引率責任者は、大会当日受付時に「学校同行者体調記録表」を提出すること。また、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手、監督、コーチ、引率責任者は大会に参加させないよう徹底すること。

3, 来場者体調記録表の保管

各校の引率責任者は、保護者などの学校同行者体調記録表に記載された者以外のチーム関係者に対して、「来場者体調記録表」の提出を求め、大会終了後1ヶ月程度保管をすること。もし、大会終了後2週間以内に提出者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技部長に対して速やかに報告すること。

4, 行動履歴書の記録と保管

各校の引率責任者は、学校同行者体調記録表に記載された者および、来場者体調記録表の提出のあった者に対して、「行動履歴書」の記録と1ヶ月程度の保管を求めること。

5, 大会参加生徒の同意書の提出

各校の引率責任者は、大会参加申込書の提出前に、選手に学校長への「参加同意書」の提出を求めること。また、各校の学校長は参加同意書の確認をして、大会参加申込書を競技部に提出すること。

6, その他

- ① 原則、保護者の応援は各チーム登録選手1名つき3名までとする。応援については密を避けるため、最低1m程度の間隔を空けるようにする。

- ② トスは開始予定時刻 30 分前とする(試合開始を予定時刻の 30 分程度前まで早めることがある)。
- ③ 各チーム手洗い用の石鹸、消毒を準備し、こまめに手洗い、消毒をする。
- ④ 選手、監督、コーチ、引率責任者は原則練習中、試合中以外はマスクを着用すること。ただし、熱中症を避けるため、マスクをはずしても良いがその際は会話を控え、人との距離をとること。

以上のことを含め、引率責任者は「令和 4 年度 静岡県中学校体育連盟 静岡県中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」に従い、選手、監督、コーチ、引率責任者および保護者、チーム関係者が大会に参加するよう徹底すること。

II 暑熱対策

試合前、3 回裏終了時に熱中症指数を計測し、**嚴重警戒(WBGT 28 以上)**やそれ以外にも熱中症の危険が高いと判断される場合以下の対策を講じる。

- 1、 イニングの守備が 15 分を過ぎた場合、その時点の打者が打撃終了後、3 分間の給水時間を設ける。
- 2、 3 回表、5 回裏終了後、3 分間の休息時間を設ける。タイブレーカーに入る場合は、7 回裏、10 回表、12 回裏…と 2.5 イニング終了後ごとに 3 分間の休憩時間をとる。
- 3、 試合が連続になる場合、次の試合までの間隔を 1 時間程度あける(総務委員長、競技委員長、審判部、両チーム監督で協議の上、次の試合開始時刻を決定する)。
- 4、 1 回戦に時間制限(120 分を過ぎて新しいイニングに入らない)を設ける。ただし、120 分終了時点で裏の攻撃が終了していた場合は、次の回に入ることとする(スリーアウトと 120 分が同時の場合はそのイニングで終了)。また、上記 1, 2 については 120 分に含まない。